

1 出題のねらいと内容

言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能並びに話すこと・聞くこと、書くこと及び読むことに必要な思考力、判断力、表現力等、国語で正確に理解し適切に表現する能力を総合的にみることをねらいとした。

第一問では、基礎的な漢字を読む力や書く力、表現技法についての知識、行書の特徴についての知識をみようとした。

第二問では、広報委員会で作成する壁新聞の記事の内容について話し合う場面を素材とし、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方についての知識及び技能、話し合いの進め方の工夫など、話し合う力をみようとした。

第三問では、祖母が営む雑貨店で働き始めた主人公が、自分に対する祖母の思いに気付く場面を描いた文章を素材とし、叙述に基づ

いて、文章の内容や表現を的確に捉える力や適切に表現する力をみようとした。

第四問では、言葉が人の物事の見方や考え方に影響を与えることについて説明した文章を素材とし、叙述に基づいて、書き手のものの見方や考え方を的確に捉える力や適切に表現する力をみようとした。

第五問では、故郷の家族に手紙を出す際の心境を詠んだ漢詩を素材とし、古典に関する基礎的な知識を基に、現代語訳や語注などを手がかりにして、古人のものの見方や考え方を的確に捉える力をみようとした。

第六問では、示されたグラフから読み取ったことと、その読み取ったことに対する自分の考えを書くことによって、豊かに発想する力及び自分の考えを適切に表現する力をみようとした。

2 結果の考察

＜第一問＞知識及び技能

漢字を正しく読んだり書いたりすること、表現技法に関する知識の定着に課題

問一 漢字の読み書きの問題。③「遵守」については、正答率が37.1%であり、「遵」を「そん」と読んだ誤答が多かった。⑥「就任」については、正答率が50.2%であり、「就」を書き間違えた誤答が多かった。教科書を読むことや読書を通して漢字の読みの習熟を図るとともに、漢字を様々な文脈の中で使う機会を充実させたい。

問二 俳句に用いられている表現技法を適切に捉えることができるかをみる問題。正答率は72.5%であったが、各層の得点率の差が大きかった。c層では、得点率が48.4%にとどま

り、表現技法に関する知識の定着に課題があると推察される。それぞれの表現技法を、その名称と結び付け、意味や用法とともに理解して使うことができるようにすることが重要である。

＜第二問＞知識及び技能並びに思考力、判断力、表現力等「話すこと・聞くこと」

発言の意図を捉えることに課題

問一 助動詞「られる」の意味について理解しているかをみる問題。正答率は83.9%であり、助動詞「られる」の意味を文脈から見分けることができていたといえる。

問六 互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるかをみる問題。得点率は55.6%

であった。合意形成のために、複数の人物の発言から共通点を見いだしていることに着目できていない誤答が多かった。互いの考えを生かしながら議論や討論をする活動を通して、立場や考えの違いを認めつつ、納得できる結論を目指して話し合う力を伸ばしたい。

＜第三問＞思考力、判断力、表現力等「読むこと」文学的な文章

登場人物の言動の意味を捉え、適切に表現することに課題

問二 登場人物の言動の意味について、適切に表現できるかをみる問題。得点率は43.9%にとどまった。根拠となる描写には着目できていたものの、傍線部中の指示する語句が指し示す内容を適切に表現することができていない解答が多かった。根拠となる本文の言葉を用いて登場人物の言動の意味を説明したり、登場人物の言動から考えたことを伝え合ったりする活動を一層充実させたい。

問三（二） 登場人物の人物像を捉えることができるかをみる問題。正答率は86.8%であった。心情に関する描写を基に、人物像を的確に捉えることができていたといえる。

＜第四問＞思考力、判断力、表現力等「読むこと」説明的な文章

情報を整理しながら内容を解釈することに課題

問二 主張と例示との関係を的確に捉えることができるかをみる問題。得点率は41.8%にとどまった。接続語に着目して、文章中に示されている具体例と、書き手の主張との関係を考えながら内容を把握することができていなかったと推察される。文章の内容をノートやレポート等にまとめる活動を充実させ、文章

の構成や展開を正確に捉える力を育成することが望まれる。

問三（一） 複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができるかをみる問題。得点率は11.5%であった。傍線部直前の表現のみに着目したと推察される解答が多かった。目的に応じて必要な情報を捉えて要約する活動を充実させ、情報を整理して、内容を解釈する力を伸ばしたい。

＜第五問＞知識及び技能「我が国の言語文化」

訓読の仕方の理解に課題

問二 漢文の訓読の仕方を理解しているかをみる問題。得点率は59.7%であったが、各層の得点率の差が大きかった。一・二点の位置が逆であったり、レ点を付けたりした誤答が多かった。作品を朗読することを通して、訓読の仕方について理解を深めるとともに、生徒と古典の世界との距離を縮め、古典の世界に親しむことができるように授業を工夫したい。

＜第六問＞思考力、判断力、表現力等「書くこと」

根拠の適切さを考えながら自分の意見を書くことに課題

グラフから情報を読み取り、読み取ったことに対する自分の考えを適切に表現することができるかをみる問題。グラフから読み取ったことに対する考えを書くことができていなかったり、自分の考えを支える根拠が明確でなかったりする解答が多かった。多様な考えができる事柄について自分の意見をもち、書こうとする根拠が適切かを検討しながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する活動を充実させ、書く力の伸長を図りたい。

問題				正答率→	←無答率	得点率	調査書総点別得点率 (a:135～111点 b:110～88点 c:87～48点)
第一問	問一	①	記述 知・技 漢字	99.3%	0.0%	99.3%	a:99.8% b:99.4% c:98.7%
		②	記述 知・技 漢字	96.5%	0.0%	96.5%	a:97.8% b:96.9% c:95.0%
		③	記述 知・技 漢字	37.1%	4.6%	37.1%	a:63.7% b:34.4% c:15.5%
		④	記述 知・技 漢字	84.5%	7.9%	84.7%	a:97.3% b:88.9% c:68.5%
		⑤	記述 知・技 漢字	85.0%	3.7%	85.1%	a:97.4% b:90.9% c:67.4%
		⑥	記述 知・技 漢字	50.2%	12.9%	50.2%	a:82.7% b:50.1% c:20.4%
	問二	多肢選択	知・技 表現技法	72.5%	0.1%	72.5%	a:94.5% b:76.3% c:48.4%
	問三	多肢選択	知・技 書写	66.3%	0.1%	66.3%	a:85.2% b:65.9% c:49.4%
第二問	問一	多肢選択	知・技 文法	83.9%	0.1%	83.9%	a:94.6% b:84.8% c:73.2%
	問二	記述	話・聞 発言	68.7%	2.2%	79.7%	a:91.2% b:81.2% c:67.5%
	問三	多肢選択	知・技 情報の整理	90.3%	0.1%	90.3%	a:96.3% b:92.6% c:82.2%
	問四	多肢選択	話・聞 司会の進め方	87.5%	0.0%	87.5%	a:96.6% b:90.1% c:76.5%
	問五	多肢選択	話・聞 発言	88.8%	0.1%	88.8%	a:97.5% b:91.2% c:78.3%
	問六	記述	話・聞 発言	49.4%	5.0%	55.6%	a:75.9% b:58.9% c:33.4%
第三問	問一	多肢選択	読む 精査解釈	91.6%	0.1%	91.6%	a:98.2% b:93.4% c:83.7%
	問二	記述	読む 構造内容	22.6%	8.1%	43.9%	a:59.0% b:45.6% c:28.2%
	問三	(一) 抜き出し	読む 精査解釈	89.9%	3.5%	91.4%	a:99.0% b:94.9% c:80.7%
		(二) 多肢選択	読む 構造内容	86.8%	0.4%	86.8%	a:97.2% b:90.3% c:73.6%
	問四	記述	読む 精査解釈	7.1%	11.9%	44.3%	a:54.5% b:47.0% c:31.9%
	問五	多肢選択	読む 表現	77.3%	0.6%	77.3%	a:87.2% b:78.1% c:67.3%
第四問	問一	多肢選択	読む 精査解釈	85.2%	0.3%	85.2%	a:97.3% b:89.1% c:69.9%
	問二	抜き出し	読む 構造内容	41.3%	24.0%	41.8%	a:67.0% b:40.0% c:20.5%
	問三	(一) 記述	読む 精査解釈	7.7%	31.1%	11.5%	a:25.0% b:8.1% c:2.9%
		(二) 抜き出し	読む 精査解釈	68.4%	14.0%	69.1%	a:92.8% b:74.5% c:41.4%
	問四	記述	読む 精査解釈	0.8%	41.0%	5.8%	a:12.6% b:4.6% c:0.9%
	問五	多肢選択	読む 構造内容	62.0%	2.8%	62.0%	a:79.8% b:61.9% c:45.7%
第五問	問一	多肢選択	知・技 言語文化	70.7%	1.0%	70.7%	a:90.6% b:70.1% c:53.1%
	問二	記述	知・技 言語文化	59.6%	4.0%	59.7%	a:88.3% b:63.0% c:29.7%
	問三	(一) 多肢選択	知・技 言語文化	78.6%	2.0%	78.6%	a:94.6% b:82.0% c:60.1%
		(二) 記述	知・技 言語文化	28.4%	19.1%	49.8%	a:71.9% b:52.6% c:26.5%
	第六問	論述	書く 意見文	1.7%	1.2%	59.7%	a:68.9% b:62.8% c:48.0%
計						62.1%	a:75.5% b:63.9% c:47.9%

令和 8 年 度

公立高等学校入学者選抜学力検査問題

国 語

第一問 次の問いに答えなさい。

問一 次の文の——線部①～⑥のうち、漢字の部分はその読み方をひらがなで書き、カタカナの部分は漢字に改めなさい。

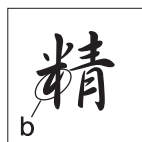
- ・ 会場の客席が埋まる。①
- ・ 記録の更新に挑む。②
- ・ 交通規則の遵守を呼び掛ける。③
- ・ 渡り鳥のムれが飛んでいく。④
- ・ 限りあるシゲン⑤を大切に使う。
- ・ 社長にシユウニンする。⑥

問二 次の俳句で使われている表現技法として、最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

おおよたつはる
大屋達治

- ア 直喩 イ 反復 ウ 体言止め エ 対句

問三 次の行書で書かれた漢字について、○で囲んだa、bの部分に表れている行書の特徴の組み合わせとして、最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。



- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| ア | イ | ウ | エ |
| a | a | a | a |
| 筆順の変化 | 点画の連続 | 点画の連続 | 点画の省略 |
| | | | |
| b | b | b | b |
| 点画の省略 | 筆順の変化 | 筆順の変化 | 筆順の変化 |

第二問 ある中学校の広報委員会では、壁新聞を作成し、校内に掲示しています。広報委員のAさんたち四人は、先日行われた体育祭について壁新聞を作成する担当です。次は、【前回の話し合いの記録】と、Aさんが司会となつて行つた【話し合いの一部】です。あとの問いに答えなさい。

【前回の話し合いの記録】

○記事の案

- ・各競技の結果
- ・赤組、白組、青組それぞれの総合得点
- ・赤組の優勝
- ・体育祭実行委員の活動
- ・放送委員の活動
- ・活躍した生徒へのインタビュー

○掲載する記事の数

四つ（紙面の大きさから）

【話し合いの一部】

〈Aさん〉 【前回の話し合いの記録】を見てもらえるかな。今日は、前回の記事の案をもとに、伝えたいことの優先順位を考えて、掲載する四つの記事の内容を決めるよ。紙面で大きく扱う順に記事Ⅰから記事Ⅳとして、まずは記事Ⅰから話し合おう。

〈Bさん〉 私は、赤組が優勝したことを一番伝えたいな。記事Ⅰでは、赤組の優勝を取り上げようよ。

〈Cさん〉 そうだね。記事Ⅰの内容は赤組の優勝がいいと思う。スペースが広いから、写真も入れられるよ。^①

〈Dさん〉 私も、赤組の優勝がいいと思うな。

〈Aさん〉 それでは、記事Ⅰの内容について、詳細はあとで検討することにして、記事Ⅰで ② ことは決定でいいね。次に、^③

記事Ⅱを決めよう。

〈Cさん〉 活躍した生徒へのインタビューを記事Ⅱにしたらどうか。

赤組の生徒の喜びの声を載せようよ。生徒の声を大きく扱うと、見る人は興味を持つてくれると思うんだ。

〈Dさん〉 インタビューを記事Ⅱにするのは賛成だけれど、赤組ではな

くて、白組と青組の生徒にインタビューをしようよ。ほかの組の生徒も取り上げた方が、より多くの人が壁新聞に興味を持つてくれると思うよ。

〈Bさん〉 私は、体育祭実行委員の働きに注目してほしいから、その活動を記事Ⅱで取り上げたいな。いろいろな仕事をして体育祭を支えてくれたよ。

〈Cさん〉 私は、Dさんの話を聞いて、白組や青組にも活躍した生徒がいたから、記事Ⅱでは白組と青組を取り上げるのがいいと思う。運営側の活動は、記事Ⅲにしてもいいかもね。

〈Bさん〉 今のCさんの話に納得したよ。確かに運営側よりも、活躍した生徒を大きく取り上げた方がいいね。記事Ⅱでは、白組と青組の生徒へのインタビューを記事にしよう。

〈Aさん〉 ^④これで、記事Ⅰから記事Ⅳのうち、記事Ⅱまでの内容が決まったね。次は、記事Ⅲについて話し合おう。まず、今出た体育祭実行委員の活動を記事にすることについて検討してみよう。

〈Dさん〉 体育祭実行委員の活動を記事Ⅲにするのは賛成だけれど、放送委員の活動を記事にする案も前回出ていたよね。放送委員も、進行のアナウンスなどをして体育祭を支えていたよね。その活動も伝えたいな。

〈Aさん〉 体育祭実行委員と放送委員をそれぞれ記事にすると、これで記事の数は四つになるよ。各競技の結果や、それぞれの総合得点を記事にするという案もあったけれど、どうか。

〈Cさん〉 ^⑤確かに、どちらの委員の活動も伝えたいね。でも、運営側の活動の記事が二つもあるのは多くないかな。それに、競技結果や総合得点も記事にした方がいいと思うから、委員の活動を取り上げるのは記事Ⅲだけにしたい方がいいと思うな。

〈Bさん〉 ^⑥みんなの考えは、体育祭を支えた委員の活動を記事にしたいという点では同じだね。たとえば「縁の下力持ち」のような言葉を見出しにして、体育祭実行委員と放送委員の活動を、記事Ⅲでまとめて取り上げたらどうか。

〈Cさん〉 なるほど、それはいいアイデアだね。そうしようよ。

〈Dさん〉 うん、私も賛成。

〈Aさん〉 記事Ⅲの内容も決まったね。最後に、記事Ⅳを決めよう。

問一 【話し合いの一部】の中の「^①られる」と——線部の意味が同じものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 知り合いから声を掛けられる。
イ この箱は私でも持ち上げられる。
ウ 友人の言葉にいつも助けられる。
エ 涼しい風が心地よく感じられる。

問二 【話し合いの一部】の中の^②にあてはまる適切な表現を考えて、十五字以内で答えなさい。

問三 【話し合いの一部】の中に、「記事Ⅱを決めよう。」とありますが、次は、^③の部分でAさんが取った【メモ】です。^a、^dにあてはまる言葉の組み合わせとして、最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

【メモ】

記事Ⅱ			
	Cさん	c の生徒に インタビュー	a
	Dさん	d の生徒に インタビュー	b
Bさん	体育祭実行委員の活動		働きに注目してほしい

- ア 理由 | b 提案 | c 赤組 | d 白組と青組
イ 理由 | b 提案 | c 白組と青組 | d 赤組
ウ 提案 | b 理由 | c 赤組 | d 白組と青組
エ 提案 | b 理由 | c 白組と青組 | d 赤組

問四 【話し合いの一部】の中の「^④これで、」が始まるAさんの発言について、ここでの司会の進め方を説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 話し合いの進み具合について確認し、話し合いの次の論点を明示している。
イ それぞれの発言の内容を整理し、新たな観点から話し合うことを提案している。
ウ 話題がそれてしまったことを指摘し、話し合いの目的を改めて説明している。
エ これまでの発言の内容を振り返り、それぞれの考えの相違点を確認している。

問五 【話し合いの一部】の中の「^⑤確かに、」が始まるCさんの発言について説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 他者の意見に反論したうえで、自分の発言を見直し、新たな意見を出している。
イ 他者とは異なる意見を述べたうえで、その正当性を訴え、自分の意見に同意を求めている。
ウ 他者の意見に共感を示したうえで、説明が不足している点を挙げ、自分の言葉で補足している。
エ 他者の意見を受け止めたうえで、その課題を指摘し、自分の意見を述べている。

問六 次の文は、【話し合いの一部】の中の「^⑥みんなの考えは、」が始まるBさんの発言について説明したものです。にあてはまる適切な表現を考えて、十字以内で答えなさい。

- 互いの考えの ことで、みんなが納得できるようなアイディアを出している。

著作権保護のため本文等を掲載しておりません。

(長月 ながつき 天音 あまね「銀座ちぐさ百貨店」による)

*をつけた語句のへ注V

さつき

金型 ———— ここでは、たい焼き用の金属製の型のこと。

タネ ———— ここでは、たい焼きの生地のこと。

問一 本文中に「^①」とありますが、祖母が男の子の言葉から得たヒントとは、どのようなことですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 新たな商品としてたい焼きを加えるといいかもしれないということ。
イ 近所にはたい焼きを作りたい子どもが多いかもしれないということ。
ウ たい焼きの尻尾に塩昆布を入れるといいかもしれないということ。
エ 老舗のたい焼き屋の場所を店に掲示すべきかもしれないということ。

問二 本文中に「^②」とありますが、祖母は、どのようなことが「楽しい」と述べたのですか。二十五字以内で説明しなさい。

問三 本文中に「^③」とありますが、次の対話は、ここでの「私」の様子について話し合ったものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

〈Xさん〉 「^③」とあるけれど、祖母は

「^③」をしているんだね。

〈Yさん〉 うん。祖母にじつと見つめられた「私」は、幼い頃から祖母の

「^A」が大好きだったことを思い出しているね。

〈Xさん〉 そうだね。今でもその気持ちは変わっていないんだね。それ

から、祖母の話の内容だけでなく、「私」は祖母の指摘を「[□]」だと感じているよ。小さい頃から

「^B」 ようだね。

〈Yさん〉 そうすると、ここでの「私」は、祖母の目と、祖母の話の両方に引き込まれて、祖母から目を逸らせなくなっているんだね。

(一) 「^A」にあてはまる言葉を、本文中から七字でそのまま抜き出して答えなさい。

(二) 「^B」にあてはまる表現として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 祖母の働く姿を見てきた「私」は、祖母のような仕事をしたいと思
い続け、自分の仕事に価値を見いだせずにいた
イ 互いの真意を探り合う大人の様子を見てきた「私」は、相手の言葉を
素直に受け止められず、周囲を信じられずにいた
ウ 人に気に入られるように振る舞ってきた「私」は、自分のやりたい
ことを我慢して、他者に合わせて生きてきた
エ 人の顔色を気にしてきた「私」は、相手が自分をどう思っているか
を意識しすぎていて、自分に自信を持てずにいた

問四 本文中に「^④」とありますが、このときの「私」の心情を、五十五字以内で説明しなさい。

問五 本文の表現について説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 祖母と野乃との会話をテンポよく重ねることで、祖母と「私」の接客
の違いをきわ立たせている。

イ 情景を色彩豊かに描写することで、登場人物の心情の移り変わりを読
者が想像しやすくしている。

ウ 「私」や祖母が過去を振り返る場面を描くことで、二人の人物像や関
係性を効果的に表現している。

エ 三人称の視点から物語を展開することで、それぞれの登場人物の心情
を客観的に描き出している。

著作権保護のため本文等を掲載しておりません。

（古田 徹也）「言葉なんていらない？ 私と世界のあいだ」による）

*をつけた語句の△注▽

鑿——木材や石材に穴や溝を掘る工具。

相貌——ここでは、特徴や側面のこと。

いずい——北海道や東北地方の方言。「違和感がある」「しつくりこない」などの意味がある。

問一 本文中に「 」^①とありますが、それを知っていると、どのようなことができますと筆者は述べていますか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 強風で折れた倒木をその形のまま利用すること。

イ 倒木から作られた作品の価値に気づくこと。

ウ 家や学校で身につけた技術を他者に教えること。

工 何が作れるかという関心をもって倒木を見ること。

問二 本文中に〔 〕とありますが、次の文章は、このことについて、筆者が述べていることを説明したものです。〔 〕にあてはまる言葉を、本文中から十三字でそのまま抜き出して答えなさい。

問三 本文中に③

とありますが、次の文章は、このことについて、筆者が述べていることを説明したものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 答えなさい。

A

にあてはまる適切な表現を考えて、三十五字以内で

(二) B にあてはまる言葉を、本文中から十七字で探し、はじめの五字で答えなさい。

問四 本文中に「 」とありますが、筆者がこのように述べる理由を、五十五字以内で説明しなさい。

問五 本文の論の進め方について説明したものととして、最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 主題について自分の見解を述べたあと、対立的な意見に対して反論しながら、持論を展開している。

イ たえを用いて主題を提示したあと、具体的な例を挙げ、他者の主張を引用しながら、説明を重ねている。

ウ 主題について問題を提起したあと、他の地域との共通点や相違点を挙げながら、自身の見解を明らかにしている。

工 先人の言葉を引用して主題について仮説を立てたあと、具体的な根拠を示しながら、検証を行っている。

第五問 次の【漢詩】と、その【書き下し文】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【漢詩】

秋思

張籍

【書き下し文】

秋思

張籍

洛陽城裏見秋風

洛陽城裏秋風を見る

欲作家書意万重

家書を作らんと欲して意万重

復恐匆匆说不尽

復た恐る匆匆説いて尽くさざるを

行人臨發又開封

行人発するに臨んで又封を開く

（「三体詩」による）

*をつけた語句のへ注▽

洛陽城裏——唐代の東都、洛陽の町。作者は故郷を離れ洛陽にいる。

家書——ここでは、家への手紙のこと。

行人——ここでは、手紙を届けてくれる旅人のこと。

問一 この【漢詩】の形式を何というか、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 五言絶句 イ 五言律詩 ウ 七言絶句 エ 七言律詩

問二 【書き下し文】を参考にして、【漢詩】中の「見秋風」に返り点を付けなさい。

問三 次の対話は、【漢詩】について話し合ったものです。あとの(一)、(二)の問いに答えなさい。

〈Xさん〉 前半の二句は、作者が、「秋風」をきつかけに「家書」を書

こうするといふ展開になっているね。

〈Yさん〉 そうだね。A 様子が、「意万重」という表現から伝わってくるよ。「秋風」が作者の心境に影響を与えたのかな。

〈Xさん〉 そうかもしれないね。後半の二句では、「行人」が発するときの作者の様子が描かれているよね。

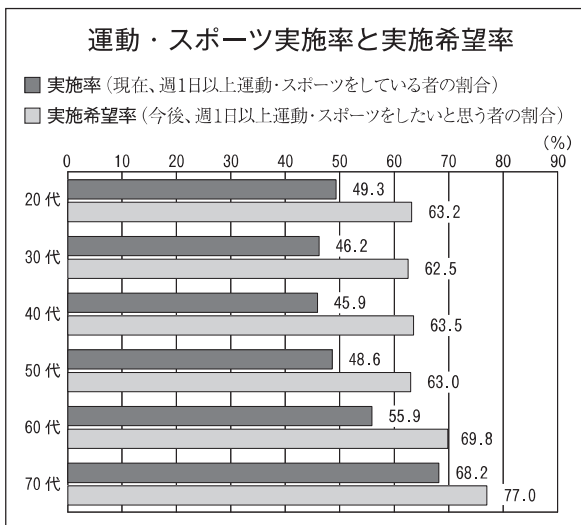
〈Yさん〉 うん。「又開封」からは、一度閉じた封を開けたことが分かるよ。作者は、B としたんだね。

- (一) A にあてはまる表現として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 洛陽が寂れたことを嘆いている
- イ 家族への思いが込み上げている
- ウ 秋の風が強く吹いている
- エ 友人からの手紙を待ち望んでいる
- (二) B にあてはまる適切な表現を考えて、二十字以内で答えなさい。

第六問

総合的な学習の時間で、運動の習慣をテーマに、下のグラフを用いてレポートを書くことになりました。

あなたは、このグラフからどのようなことを読み取り、そこからのようなことを考えますか。百六十字～二百字で書きなさい。



（スポーツ庁「令和6年度『スポーツの実施状況等に関する世論調査』より作成）

(1) 国語正答表

							備考欄
3	5	3	2	4	3	20	配点
問五	問四	問三 (二) (一)		問二	問一	第三問	
ウ	(例) 私が思っていた以上に祖母が私のことを理解し、伸び伸びと働けるように考えてくれていたことに気づき、感激している。 (五十五字)	エ		(例) 違う形になったとしても、物が残っていくこと。 (二十二字)	ア		

							備考欄
							14
3	2	2	2	3	2	配点	
問六	問五	問四	問三	問二	問一	第 二 問	
(例) 共通点に着目する (八字)	エ	ア	ウ	(例) 赤組の優勝を取り上げる (十一字)	イ		

		漢字は、点画に過不足がなく、字形の正しさを損なっていないければ正答とする。						備考欄	配点
2	2	2	2	2	2	2	2	16	
問三	問二	問一						第一問	
イ	ウ	⑥ 就任 シュウニン	⑤ 資源 シゲン	④ 群衆 グンシュ	③ 遵守 ジュンシュ	② 挑発 テウハツ	① 埋没 マイボク		
				(れ)		(む)	(まる)		

△採点の基準▽

1	内容及び表現について	15点
グラフから読み取ったことと、そこから考えたことが、適切に表現されているか。		
2	表記について	5点
(1)	誤字や脱字はないか。	
(2)	仮名遣いや送り仮名は正しいか。	
(3)	漢字、ひらがな、カタカナの使い分けは適切であるか。	
(4)	句読点やその他の符号の使い方は適切であるか。	
(5)	原稿用紙の使い方は正しいか。	

△留意事項▽

採点は、前記の△採点の基準▽1、2によることとするが、次の点についても留意すること。

(1) 字数が百六十字に満たないものは、総点を10点以下とし、二百字を超えたものについては、その程度に応じて適宜減点する。

(2) 表記の誤りにについては、前記の△採点の基準▽の2によって適宜減点する。

採点の 基準等	20	配点					備考欄
			4	2	2	2	10
第 六 問	問三		問二	問一	第 五 問		
	(二)	(一)	見 二 ル 秋 風 一 ッ	ウ			
	う(例) 手紙に書き漏らしがないかを確認しよ (十八字)		イ				

										備考欄	
3		5		3		4		3		2	
										20	
問五		問四		問三		問二		問一		第 四 問	
				(一)							
イ		(例) 伝達や内省の内容は、習得した言語に含まれる言葉の影響を受けた物事の見方や考え方の下でつくり出されるため。 (五十二字)				(例) 「緑」や「オレンジ」と呼んで区別する色彩も「茶」という言葉で表していた (三十五字)				エ	

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。

满点 100 点